

# 勝間のひみつもっと調査隊

～見つけよう、わたしたちのまちのいいところ～

教科・領域 総合的な学習の時間

防府市立勝間小学校 3年

## キャリア教育の観点

本単元は、社会科学習「はたらく人とわたしたちの暮らし」をもとにして、地域の人とかかわりながら地域のよさを知る活動です。キャリア教育の観点は、次の2点です。

- ① 地域で働いている人の話を直接聞くことを通して、いろいろな職業や生き方があることを理解する機会とする。
- ② 地域にはいろいろな職業に関わる人が生活していることを実感する中で、望ましい勤労観・職業観を育む。

【自己理解・自己管理能力】【キャリアプランニング能力】

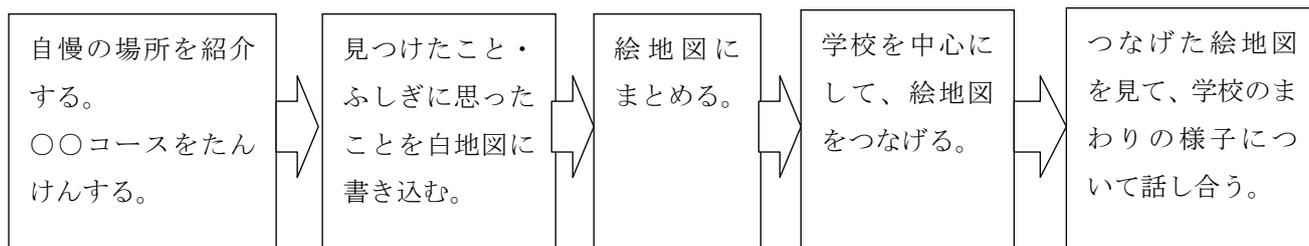
## 事前の学習「お気に入りの場所をしょうかいしよう」「学校のまわりをたんけんしよう」(社会)

- 社会科学習「わたしたちのまち みんなのまち」で、通学路や家のまわりの様子を思い出し、家の近くにある自慢の場所を紹介し合った。自分が見つけた自慢の場所を絵地図にかいて紹介し合うなかで、実際に行き確かめたい場所を選び、たんけんコースを設定した。勝間地域にある御旅所、お船蔵跡等史跡を巡る「れきしコース」、妙見神社を見学する「神社コース」、児童公園に向かう「公園コース」の3コースに分かれて探検し、見つけたことや不思議に思ったことをメモしたり来ている人にインタビューしたりした。各コースの探検を経て改めて学校の周りの様子について、絵地図や写真を手がかりに話し合った。その中で、菅原道真や毛利氏にゆかりのある史跡が点在する勝間地域に、多くの人を利用する大型商業施設やスーパーマーケットがあること、新旧の住宅や商店が混在する地域でもあることが、児童の経験から語られてきた。



御旅所にある大石の大きさを測ってみよう

## 【「わたしたちのまち みんなのまち」の学習の流れ】



「勝間のひみつもっと調査隊～しょうゆ造りのひみつを見つけよう」（総合的な学習の時間）

○ 地域にある大型商業施設には買い物に行くことが多い児童だが、ずっと前から地域にある商店に行って買い物をしたり物づくりの様子を目にした経験は乏しい。「〇〇がそこにあるのは知っているけど、中の様子はよく知らない」お店や工場にあるひみつを調べることで、地域のよさを発見し地域で働く人の姿に直接ふれることができると考えて、創業 100 年を超えるしょうゆ工場を見学する計画を立てた。

古くから味噌・しょうゆを造りつづけてこられた工場の見学を、学年全体で行った。味噌やしょうゆの原料や造り方について説明を聞き、しょうゆを実際に造っておられる様子を見学させてもらうことが可能になった。児童は、しょうゆ造りの工夫や苦勞について質問したり、実際の製造過程でどんな作業をされるのか近くで見ることで、工場でおられる人々のしょうゆ造りへの思いに触れることができた。

児童の食生活に身近な素材である味噌やしょうゆが、自分たちがくらしている地域で 100 年以上も前から造りつづけられていることは、児童にとって地域のよさの新しい発見になった。

《本時（しょうゆ工場見学）のねらい》

○ 百年以上続くしょうゆ工場を訪問し、そこで働く様々な人々にインタビューしたり醸造工程を見学したりする活動を通して、自分や学校で学ぶことと職業との関連や働く人の生き方を理解することができる。

《展開》

学習活動	指導上の留意点 ※キャリア教育の視点
1 しょうゆ工場を見学する上でのねらいや約束を確認し、出発する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習の想起、質問事項の確認</li> <li>・マナーや挨拶の仕方等も確認する。</li> </ul>
しょうゆ造りのひみつを見つけ、そこで働く人の思いを知ろう。	
2 しょうゆ工場でおたずねする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうゆの原料</li> <li>・みそ、しょうゆの造り方</li> <li>・みそ、しょうゆ造りの工夫や苦勞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問したことを内容別にメモできるような見学シートを用意し、次時の学習（新聞づくり）に活かすようにする。</li> <li>・しょうゆ造りへの思いを働く人から直接聞き取ることで、しょうゆ造りという職業や働く人の生き方を感じ取らせる。【キャリアプランニング能力】</li> </ul>
3 しょうゆ造りの様子を見学する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうゆ樽をはじめ、長い間使われている道具の多いことから、伝統的な製法を大切にされていることに気付かせる。</li> </ul>
4 お礼の挨拶をして、学校にもどる。 <p style="margin-top: 20px;">帰校後、見学メモを整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※学習に協力していただいた地域の方への感謝の気持ちを込めて丁寧な挨拶ができるよう助言する。</li> <li>・見学してつけたしょうゆ造りのひみつを「勝間のひみつ新聞」にまとめるために、グループ単位で情報を整理しておく。</li> </ul>



しょうゆ工場の見学以外に、グループ単位での神社やお地蔵さん調べ、公園や川調べ、社会見学の機会を通してかまぼこ工場や魚卸売市場で働く人の仕事の様子を実際に出かけて行って見学することができた。

### 事後の関連学習「地域の人に学ぼう①～『銭太鼓』にチャレンジ」（総合的な学習の時間）

勝間地域にはいろいろな職業にかかわって生活している人がいることを実感できた本単元の活動を、勝間地域には「銭太鼓」を心から大切にされている人（地域の指導者の方）の生き方に触れる活動につながる単元構成を考えた。

勝間公民館で活動されている「銭太鼓ゴールド会」の方に、運動会の表現種目である「銭太鼓」を直接指導していただく機会を通して、「銭太鼓」を子どもたちに継承して地域ぐるみで大切にされている地域の指導者の方の思いや生きがいをもって生きることの大切さを実感することができた。この体験活動は、地域の運動会や秋季大運動会の中学年の表現種目として保護者や地域の方に発表する機会を設けている。



### 考察・課題

地域のいろいろな職業で働く人々がそれぞれに生きがいをもって生活している姿を直に見て、その思いにふれた本単元の体験活動は、児童が望ましい勤労観・職業観を育み自分の見方・考え方を広げていくよい機会となった。また、事前・事後の学習を明確に位置付けたことで学校行事と教科領域を関連付けた学習を展開することができた。

見学ありきの活動に片寄ることなく、体験活動の取組の振り返りを整理し改善することで、キャリア教育として体系的な教育活動を実現させていきたい。

### 単元の系統図（抜粋）

